

商 工 観 光 課

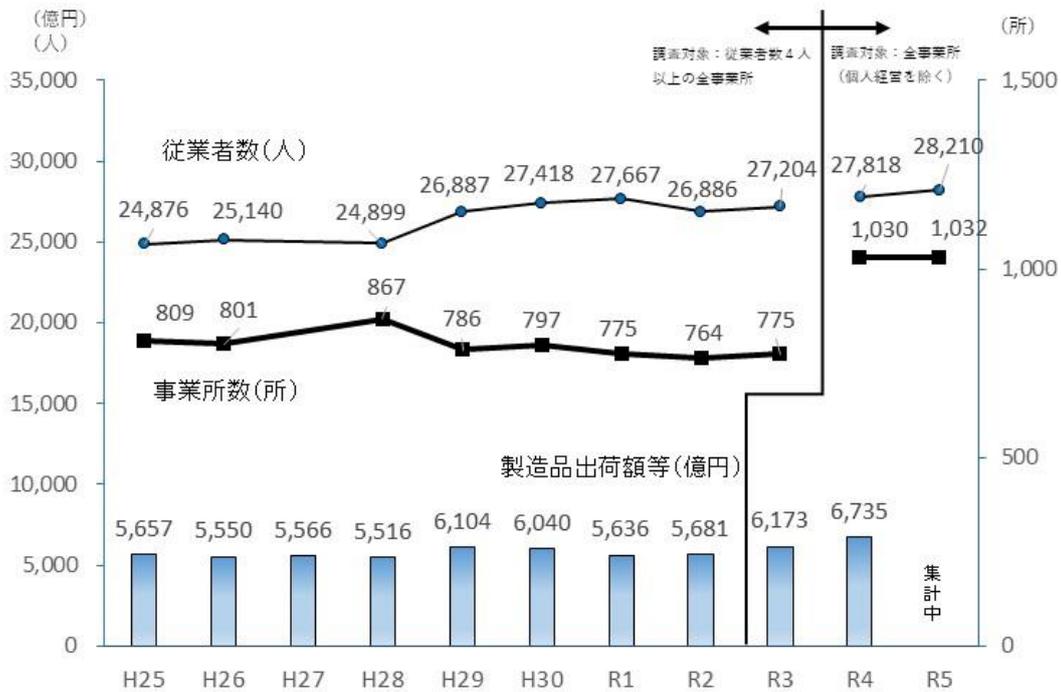
令 和 7 年 度

1 工 業

令和5年の管内事業所数（製造業）は1,032事業所（県構成比16.8%、県内2位）、従業員数は28,210人（同13.7%、県内3位）となっている。

また、令和4年の製造品出荷額等は6,735億円（県構成比9.4%、県内5位）となっている。

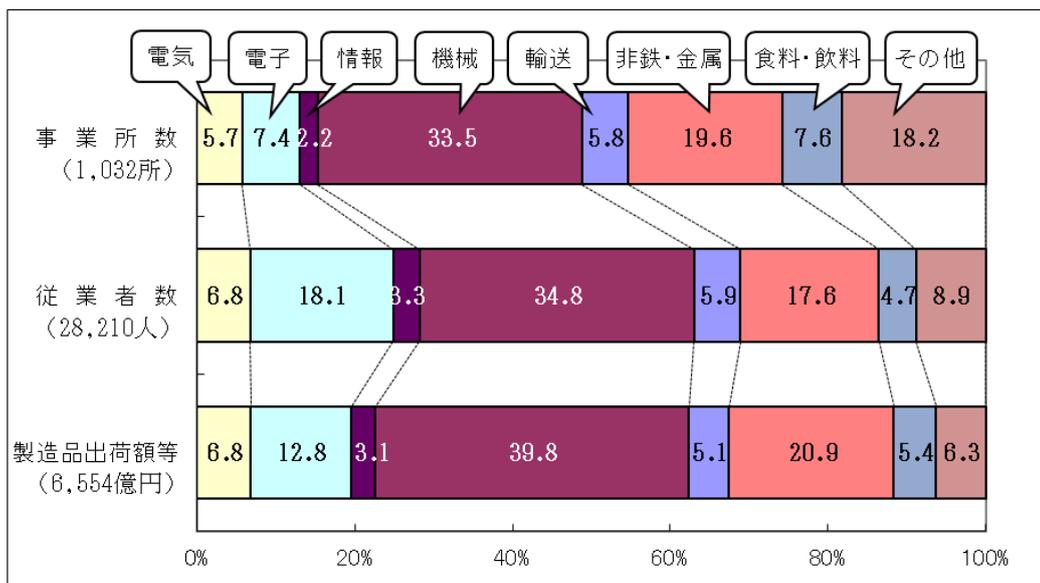
【管内工業の推移】



（出典：経済産業省「経済構造実態調査」「経済センサス」「工業統計調査」）

※「事業所数」「従業員数」は表示年の6/1現在の値。「製造品出荷額等」は表示年1年間の値。

【管内業種別構成比】

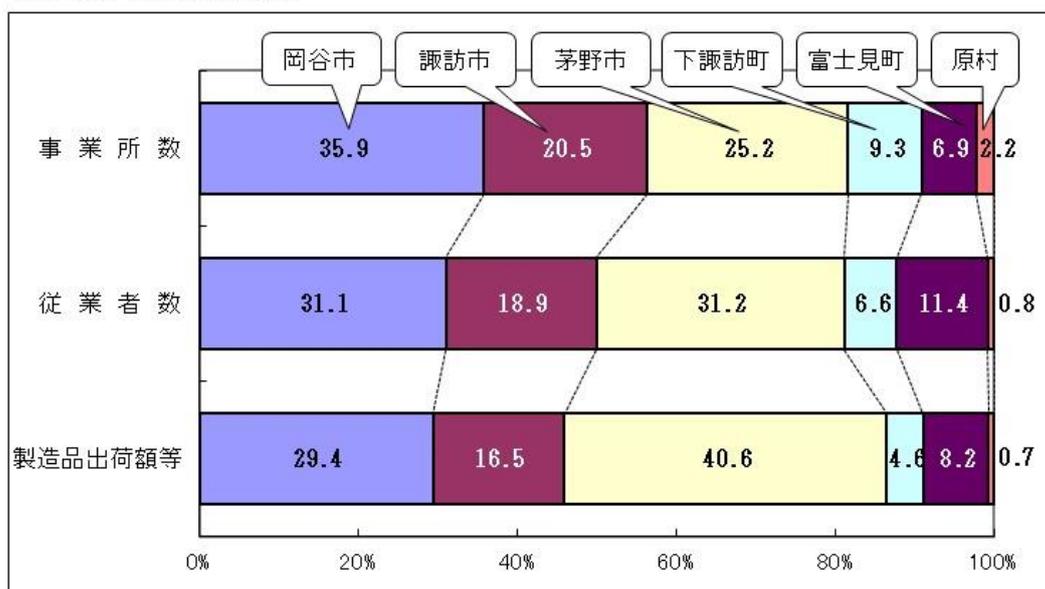


（出典：経済産業省「経済構造実態調査」）

※ 諏訪地域の業種別出荷額は推計値（一部市町村において秘匿数字があるため）

※「事業所数」「従業員数」はR5.6.1現在の値。「製造品出荷額等」はR4年1年間の値

【管内市町村別構成比】

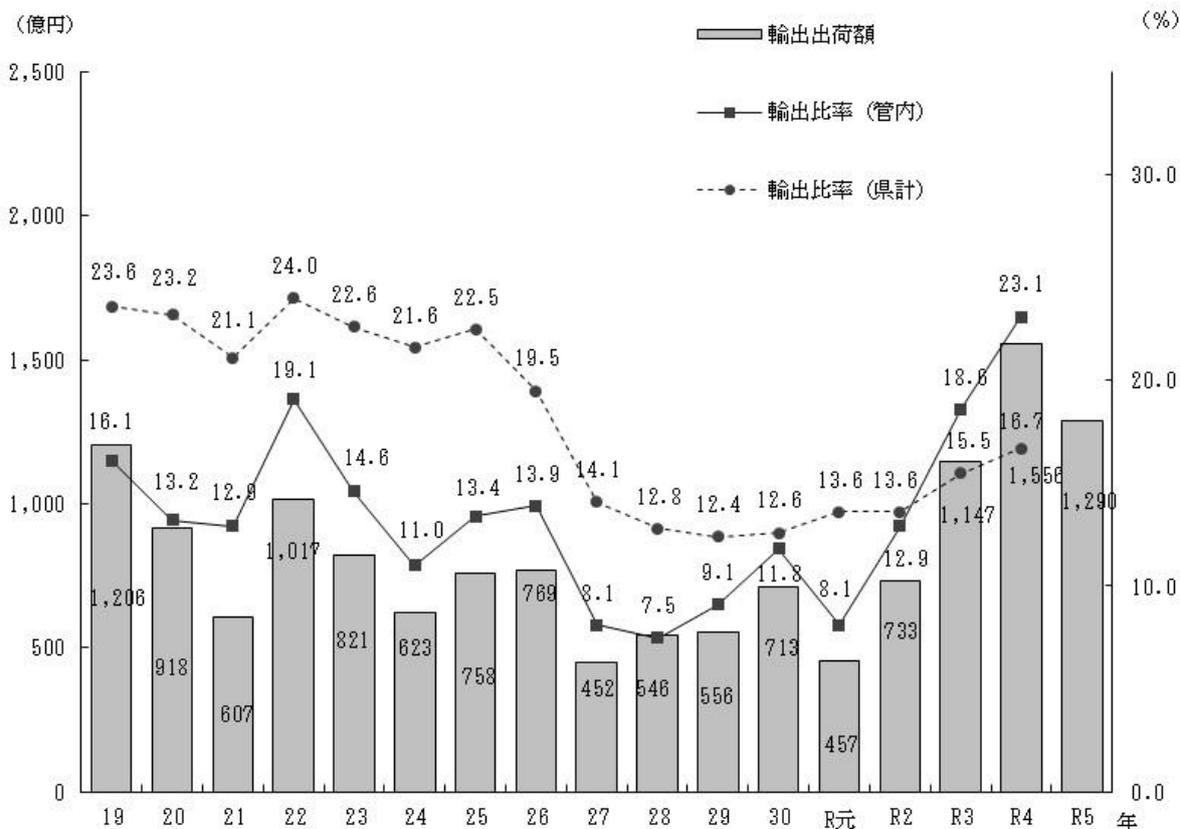


(出典：経済産業省「経済構造実態調査」)

※ 諏訪地域の業種別出荷額は推定値（一部市町村において秘匿数字があるため）

※ 「事業所数」「従業者数」はR5.8.1現在の値。「製造品出荷額等」はR4年1年間の値

【管内輸出出荷額・輸出比率の推移】



(出典：経済産業省「工業統計調査」「経済センサス」、長野県「輸出生産実態調査」)

2 商 業

令和3年経済センサスによると、管内の卸・小売業の事業所数は1,813事業所（県構成比9.2%）、従業員数は、12,690人（同8.5%）、商品販売額は4,284億円（同7.9%）である。

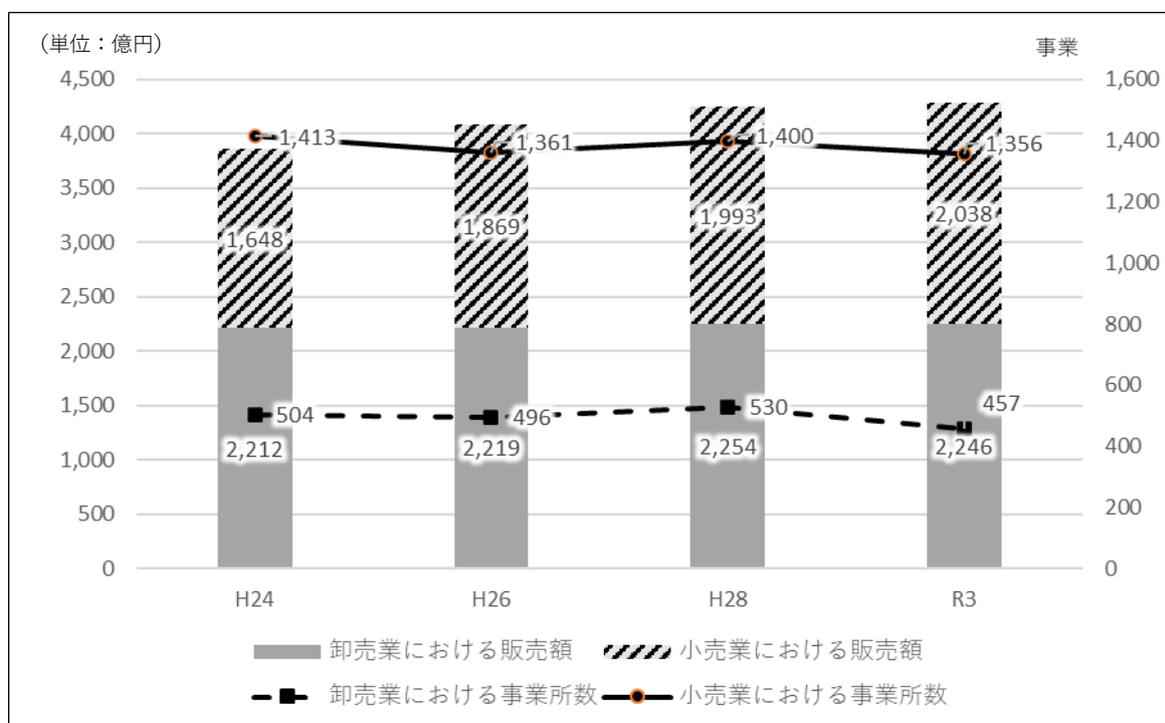
平成28年の前回調査と比較すると、事業所数は117事業所（6.1%）の減少、従業員数は54人（0.4%）の増加、商品販売額は37億円（0.9%）の増加となっている。

【諏訪管内の卸・小売業の事業所数、従業者数、販売額の推移】

年次	事業所数 (所)	対前回は		従業者数 (人)	対前回は		年間商品 販売額 (億円)	対前回は	
		(%)	(%)		(%)	(%)		(%)	(%)
H24	1,917	-	9.5%	11,526	-	8.7%	3,860	-	8.7%
H26	1,857	96.9%	9.3%	12,383	107.4%	8.8%	4,088	105.9%	8.2%
H28	1,930	103.9%	9.3%	12,636	102.0%	8.6%	4,247	103.9%	7.8%
R3	1,813	93.9%	9.2%	12,690	100.4%	8.5%	4,284	100.9%	7.9%
R3 (全県)	19,707	95.1%	-	149,016	101.9%	-	53,957	98.5%	-

(出典：経済産業省「経済センサス活動調査（R3、H28、H24）」、「商業統計調査（H26）」)

【卸・小売業の年間商品販売額及び商店数の推移】



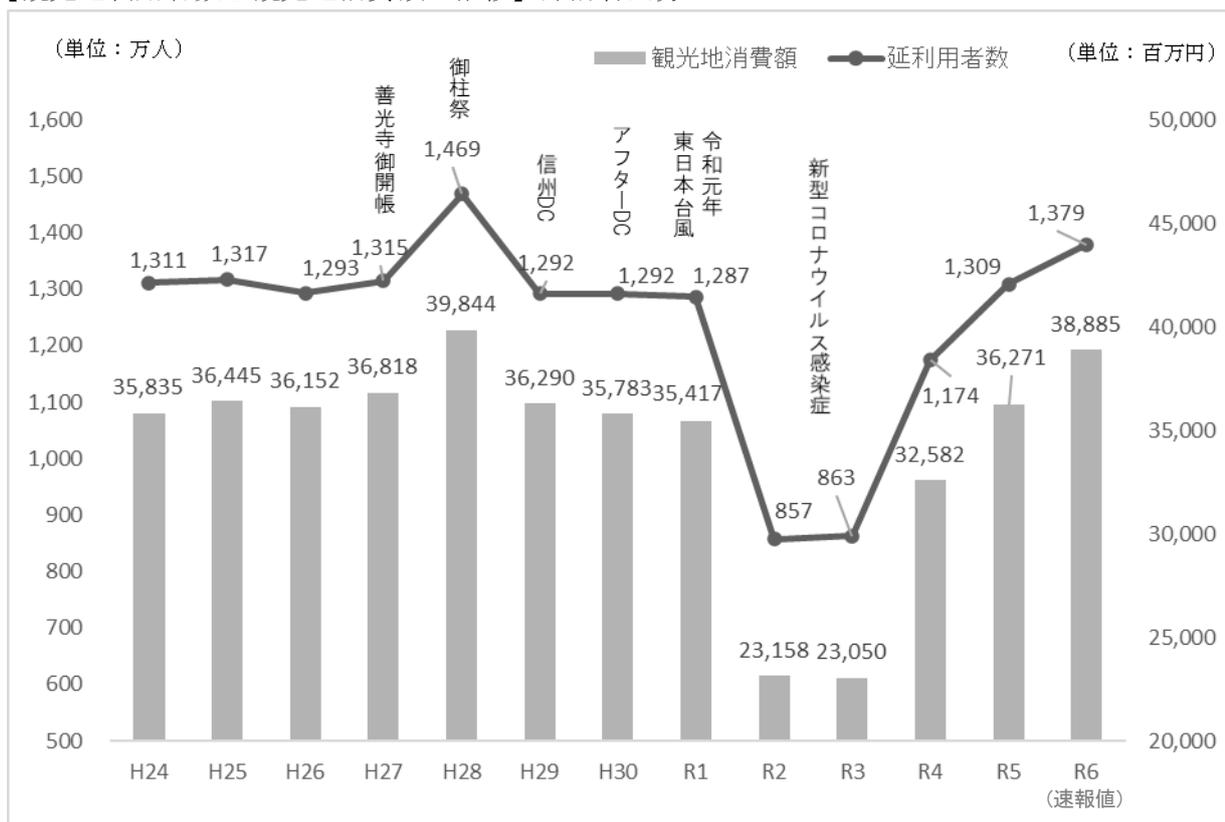
(出典：経済産業省「経済センサス活動調査（R3、H28、H24）」、「商業統計調査（H26）」)

3 観 光

管内には、県内主要観光地第3位の「上諏訪温泉・諏訪湖」のほか、「霧ヶ峰高原」「白樺湖」「蓼科」「諏訪大社」等の観光地がある。諏訪大社御柱祭の年は一時的に利用者数が増加する。

管内の令和6年観光地利用者数は、1,379万人で対前年比70万人(5.3%)の増加、観光地消費額は388億85百万円で対前年比26億円14百万円(7.2%)の増加となった。

【観光地利用者数と観光地消費額の推移】諏訪管内分



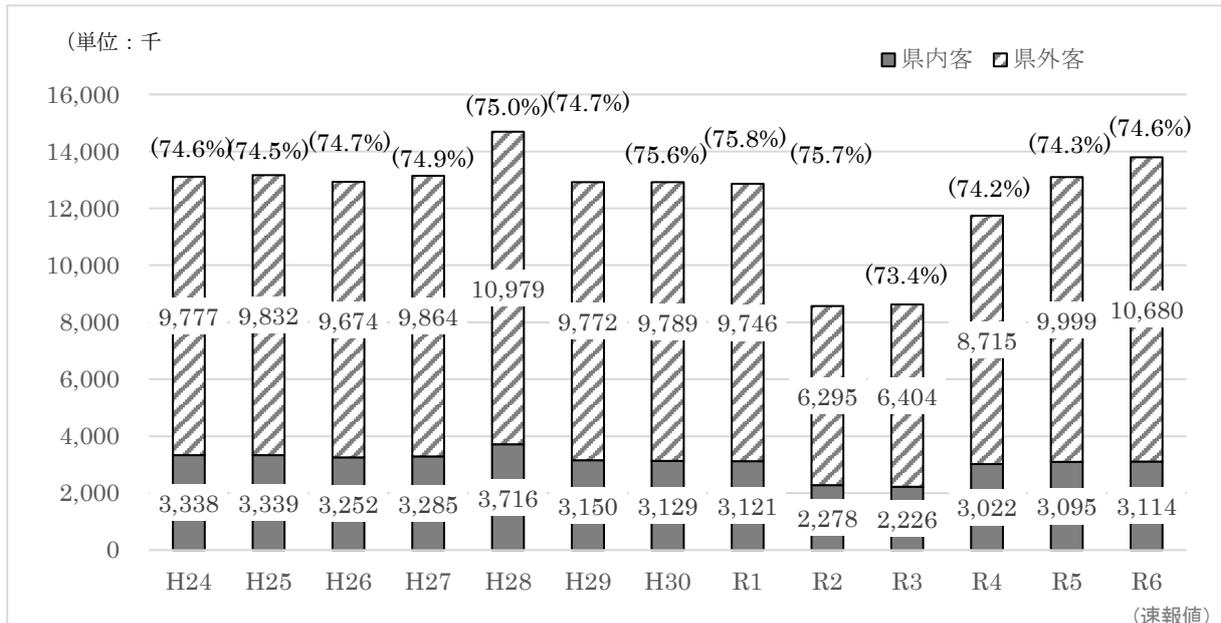
(出典：長野県「観光地利用者統計調査」)

【主要観光地の状況】上位20位より諏訪管内分抜粋

順位			市町村名	観光地名	延利用者数 (万人)			観光地消費額 (百万円)
R3	R4	R5			R3	R4	R5	
3	3	3	諏訪市	上諏訪温泉・諏訪湖	248	326	359	11,267
5	6	6	諏訪市	霧ヶ峰高原	146	188	212	4,945
7	7	7	立科町・茅野市	東白樺湖・白樺湖	125	179	211	9,909
8	8	8	茅野市	蓼科	114	151	162	5,313
15	12	14	諏訪市・下諏訪町	諏訪大社	71	109	110	1,238

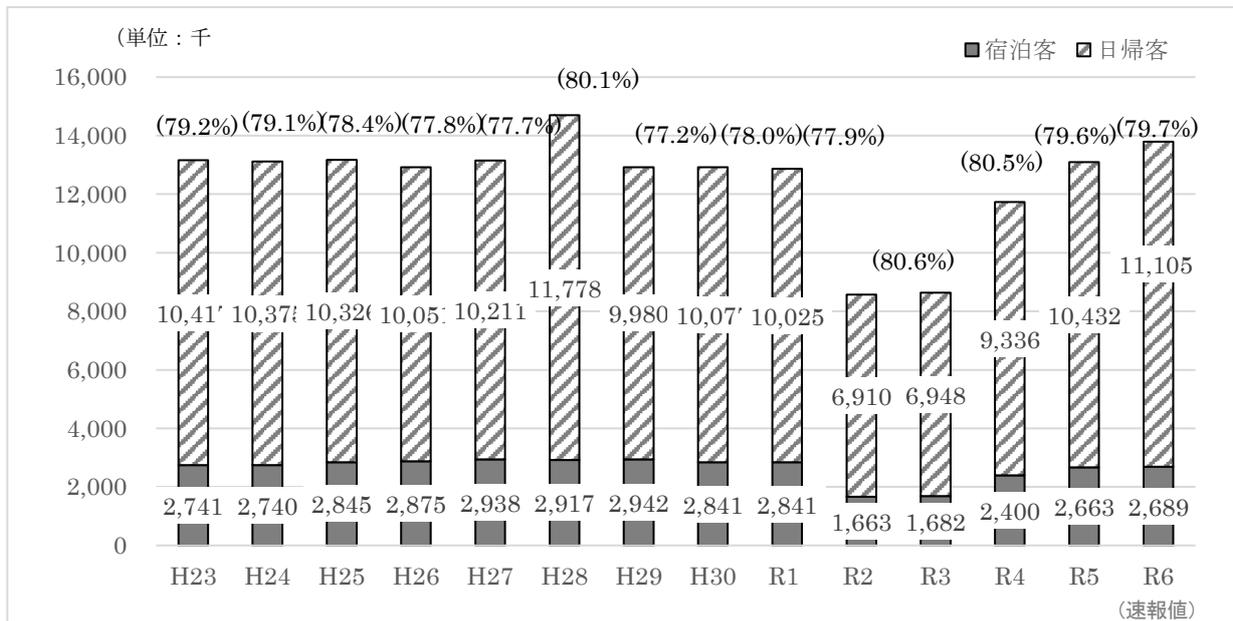
(出典：長野県「観光地利用者統計調査」)

【観光地利用者の県内、県外客の推移】諏訪管内分



(出典：長野県「観光地利用者統計調査」)

【観光地利用者の日帰り、宿泊客の推移】諏訪管内分

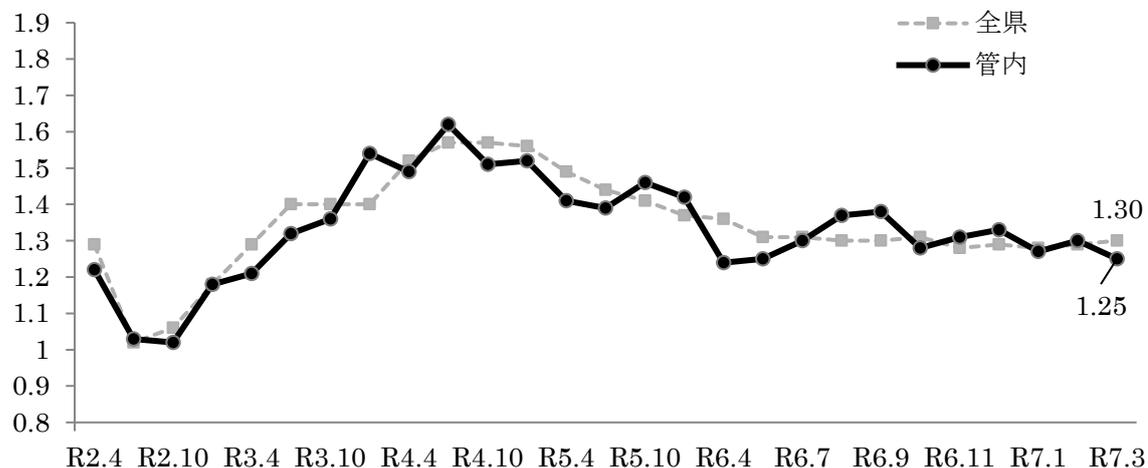


(出典：長野県「観光地利用者統計調査」)

4 雇 用

管内の有効求人倍率は、令和7年3月は1.25倍で27か月連続前年同月を下回った。求人数が求職者数を上回る状況は変わらず、人手不足の状況は継続している。

【有効求人倍率の推移（管内は実数値、県全体は季節調整値）】



(出典：長野労働局「最近の雇用情勢」、諏訪公共職業安定所「業務月報」)